

# なぜ日本のアニメ・漫画で白人優越が行われているか

## はじめに

現在、日本のアニメ・漫画は年齢や人種を超えて様々な国で人気である。日本の作品の質の高さやクオリティは評価されている。ここでは、そんな日本のアニメ・漫画に登場するキャラクターについて着眼する。私たちは人気のキャラクターは白人の特徴をもっていることが多いことに気が付いた。そもそも、日本のアニメ・漫画では黒人キャラクターの登場が少なく、悪役として登場する傾向がある。また、悪役として起用されている黒人キャラクターの特徴は大きさに表現されている。したがって、白人キャラクターが日本のアニメ・漫画内で優遇される白人優越が行われていると言える。ネットが普及しコミュニティが広がった現代社会では、様々な国の人との交流が増えた。そのため、差別が行われていたら争いを引き起こすので、どうしたら差別をなくすことができるのか身近である漫画やアニメを通して考察してみることにした。

## 序論

### (1) 参考文献から

白人の特徴にはどのようなものがあるのか。たとえば、瞳の色が水色や茶色だったり、肌の色が白っぽかったり、目が大きかったりなどがある。確かに普段私たちが見ているアニメ・漫画内のキャラクターはこのような特徴を持っていることが多い。また、そのようなキャラクターは好印象を持たれやすく、キャラクター人気投票では上位に上がることが多い。このことから、白人的特徴を持つキャラクターは日本人の理想的特徴を持っているといえる。では、黒人的特徴を持っているキャラクターはどうだろうか。基本的に、日本のアニメでは黒人キャラクターの登場が少なく、黒人の特徴を大きさに表現される。

例えば、手塚治虫の作品では人種の描き方がかなり特徴的であった。「彼の漫画に登場する黒人キャラクターは髪の毛が縮れていて、肌の色が黒く、唇が分厚いという特徴を持っている」（白人化する日本漫画 和栗 了 2016年2月29日）また、彼の作品のプロレス漫画では白人「善玉」レスラーVS黒人「悪役」レスラーが定番であり、これは彼が考える人種の社会的役割を示しているのではないかとと思われる。

### (2) 考察

そもそも、漫画は読者に受け入れられやすいように作られる。漫画は読まれることを目的にしているため、これは当然のことだ。例えば、少女漫画やボーイズラブ漫画に登場するキャラクターは白人的特徴を持っていることが多く、これは私たちが望んでいることを示している。逆に言えば、私たちはアニメ漫画内での黒人キャラクターの登場をあまり望んでいないといえるのではないかと。よって、白人による文化的帝国主義の一端を日本漫画が担っているといえる。

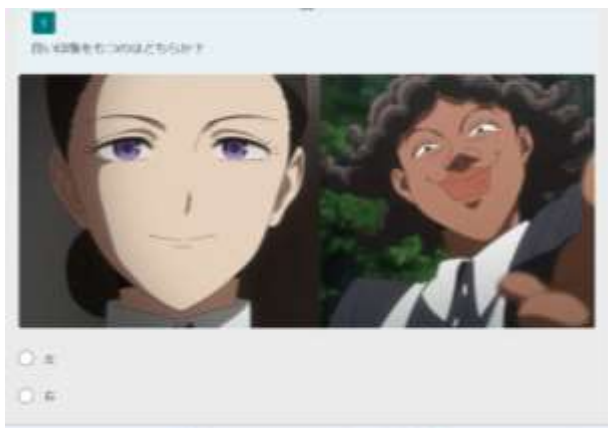


## 調査

「白さの色彩科学的考察と人間の感性による捉え方 駒城 素子」によると、日本人は白色を好む民族と言われており、身の回りにも白色が多い。そこで、この事実を確かめるべくNHKでは、1983年に日本人の色の好みに関する世論調査を行った。その調査の方法は、年齢性別を問わず日本人3,600人を対象に38種類の色の中から好きな色を複数選択してもらうというものだ。調査の結果は、白色を選ぶ人は全体の58%を占め、次に空色、赤色と続いた。

さらに、海外と比較してみると、各国に共通した傾向として鮮やかな青色が好まれており、白色が最も好まれるのは日本だけであるということが分かった。そんな日本人は白色に対して、清い、賢い、正しい、明るい光といったように前向きなイメージをもつ声があがった。

そこで、色と人種差別は関連性があるのかをアンケートを通して調べることにした。その調査方法は、岩倉総合高校の3年生を対象に、画像の人物でよい印象をもつのはどちらかという質問と、白色黒色それぞれに対するイメージを答えてもらった。



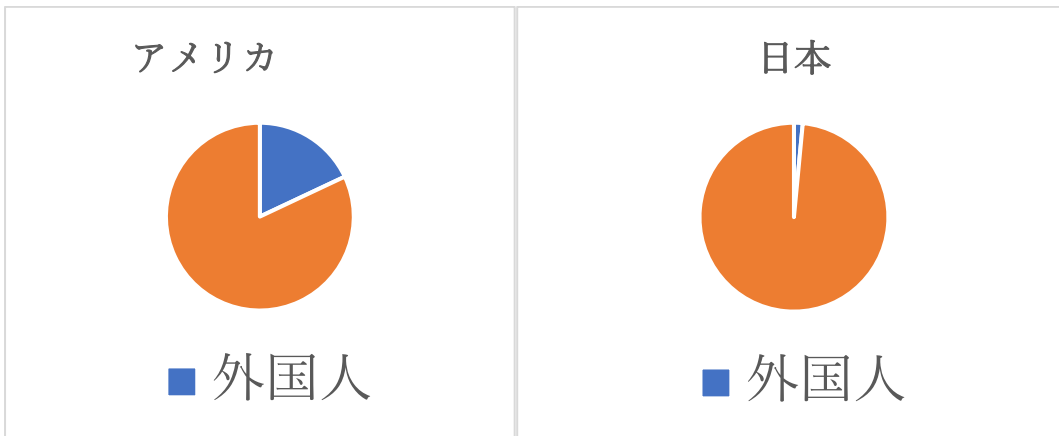
## 調査結果

アンケートの結果としてどちらが良い印象を持つのかという質問に対して左が117人、右が14人という結果になった。また、白色に対する印象では、清楚、優しそう、清らかという回答が多かった。また、黒色に対する印象では、邪悪、怖い、黒人という回答がおおかった。調査結果から分かることとして、日本人は色に対して特定の印象を持っていることが分かった。また、黒に対してのイメージはあまり良くないのに対し、白に対しては良いイメージを持っているので、日本人が白人的特徴をもつキャラクターを好むのは色彩感覚が関係しているといえる。

日本人の価値観を理解したうえで、人種差別について、日本だけでなく世界規模で考えることにした。

## アメリカのアニメ・漫画

日本に住んでいると外国人を見る機会が少ない。日本は島国であるということもあり、日本に住んでいる外国人の割合は1.5パーセント程しかないからだ。それに対しアメリカに住んでいる外国人の割合は18パーセントであり、アメリカは人種の多様な国である。そこでアメリカのアニメ・漫画でも白人優越が行われているのか調べてみることにした。



### (1) 特徴

アメリカのアニメ・漫画に登場するキャラクターでは個性豊かな外見していることや、キャラクターが人ではないことが多い。



### (2) 考察

アメリカでは人種が多様なので、人種の差別的表現についてシビアなのではないかと思われる。実際にアニメ内で白人のキャラクターは白人の声優が、アニメ内で黒人のキャラクターは黒人の声優が担当するという動きがアメリカで起こっている。「ファミリー・ガイ」の制作と声の出演を担当したマイク・ヘンリーや、あの「シンプソンズ」のプロデューサーたちも、今後は白人が演じている非白人キャラクターの声優を全て入れ替えると声明を出している（斎藤博昭、2020）

## まとめ

実際に日本のアニメ・漫画ではキャラクターも「白人化」が行われており、漫画は読者に受け入れられやすいように作られるので、読者もそれを望んでいるといえる。調査によりそれは日本人が白に対して良い印象を持つからだ、ということが分かった。作者の考え方が作品を通して透けて見える。アメリカでのアニメ・漫画内でのキャラクターは、日本のキャラクターと比較するとキャラクターが人ではなかったり、個性豊かな外見をしていたりする。アメリカは人種が多様な国なので人種に対してシビアだと思われる。このような白人優越の考え方をなくしていくことが人種差別の撤廃の第一歩となるはずだ。日本は海洋国であり多人種と関わるのが少ないので仕方がないのかもしれないが、私たちひとりひとりが差別の現状を知り、差別を無くそうという意識を持つことで、アニメ・漫画内での「白人優越」はもちろん人種差別をなくすことにつながるのではないか。

## 参考文献

- ・和栗 了(2016) 白人化する日本漫画
- ・駒城 素子 白さの色彩科学的考察と人間の感性による捉え方
- ・BBC NEWS JAPAN (2015)
- ・斎藤博昭 (2020)